

2019 12月 町内会だより

tamagawagakuen-chounaikai 町田市玉川学園 2-19-5
玉川学園町内会 月曜日～金曜日 10:00～16:00
※年末年始を除きます
<https://tamagawagakuen-chounaikai.net>
 Tel/Fax : 042-725-0438 t-chounaikai194@bz03.plala.or.jp

年末特別警戒パトロールお知らせ 防犯防災部

年末特別警戒パトロールを下記の要領で実施します。お子さんやお孫さんを連れての参加も大歓迎です。ご参加をお待ちして、再掲載いたします。

- | | |
|--|---|
| <p>1 地区 12月26日(木) 18:00～
12月28日(土) 18:00～
集合場所：両日、玉園台児童遊園</p> | <p>5 地区 12月21日(土) 19:00～20:00
集合場所：なかよし公園防災倉庫前</p> |
| <p>2 地区 12月21日(土) 19:00～20:00
集合場所：きらぼし銀行前</p> | <p>6 地区 12月21日(土) 19:00～20:00
集合場所：玉ちゃんバス 東急台入口バス停付近</p> |
| <p>3 地区 12月21日(土) 16:00～17:00
集合場所：3丁目児童公園</p> | <p>7 地区 12月18日(水) 19:00～20:00
集合場所：7丁目児童公園</p> |
| <p>4 地区 12月23日(月) 19:00～20:00
集合場所：防災倉庫前(教会そば)</p> | <p>8 地区 12月14日(土) 19:00～20:00
集合場所：無窮会坂上 T字路</p> |

玉川学園地域合同総合防災訓練が 開催されました 防犯防災部

11月10日(日)、378名が参加し玉川学園町内会、玉川学園第一住宅自治会、玉川学園興人自治会、桜ヶ丘自治会、玉川学園地区自主防災隊共催の玉川学園地域合同総合防災訓練が行われました。

今年から消火訓練、救出救命訓練など技能を必要とする訓練は参加者の訓練時間を確保するために地区や支部ごとに少人数で行うことになりました。町田第五小学校が震災時の避難施設に指定されていることから町田第五小学校会場では「避難生活に備える」をテーマに、防災講話、避難生活体験、マンホールトイレ・応急給水栓の展示説明が行われました。



各地区では町田第五小学校会場へ来る前に白いタオル出し訓練(安否確認訓練)、無線機による通話訓練、避難誘導訓練などが実施されています。避難施設のメインのトイレとなるマンホールトイレや水の確保に活躍が期待される応急給水栓の展示説明では、市の防災課職員に様々な質問を投げかけて関心の高さがうかがえる展示となりました。体育館では、各家庭で行える震災への備えを中心に講話が行われました。多目的室では、避難施設の生活を中心に、展示パネルと説明員の解説を交えて避難施設開設から運営に至るまでの流れが示されていました。更に、震災時の避難所の様子を伝える実画像のスライドショーや、避難施設での一人分の居住スペース(1.62㎡)展示もあり、参加者は避難施設の過酷な生活を感じ取った様子です。

「幼児さん達を守る合同防災訓練」が行われました 防犯防災部

11月18日(月)、園児189名、小・中学生4名、大人57名が参加して、ころころ児童館・玉川中央幼稚園・玉川さくら保育園・こりりの森保育園・玉川学園町内会共催の合同防災訓練が行われました。

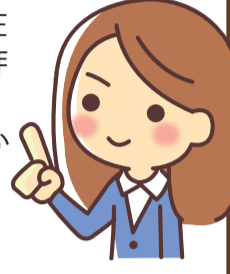
大きな地震が発生したとの想定で、各施設では身を守る行動、無線機による通話、こども広場への避難誘導などの訓練が実施されました。朝方の雨もあがり、こども広場では園児たちが5つの防災イベントを体験しながら防災について学んでいました。初めての試みは「NPO法人コドモ・ワカモノまちing」の星野さんのワークショップです。その内容は、言葉あそびを通じて、地震から身を守る防衛姿勢を身につけるといったものです。更に、町田消防署員の指導の下、煙体験、消防服の着衣体験、ポンプ車の搭乗体験と続き、3歳児から5歳児の園児は、バケツリレーに挑戦しました。1回の練習だけで本番をこなす園児たちにバケツリレーのやり方を教えた町内会の方々から感謝の声が上がっていました。



2019年度 防犯防災勉強会が 開催されました 防犯防災部

11月12日、さくらんぼホールにて「特殊詐欺に騙されない!」をテーマに防犯勉強会が開催され48名の方が参加されました。

地域の安心安全を担う玉川学園駐在所の野村様と玉林台駐在所の村松様からご挨拶があり、玉川学園地域で発生した特殊詐欺の手口を1件1件お話しくださいました。続いて、町田警察署生活安全課犯罪抑止対策本部の別府様から特殊詐欺被害の再現ドラマ映像を交えた講話がありました。



- 1. 昨年と今年の特種詐欺被害**
 - ・昨年、都内の被害件数は3,200件、被害額は84億5,000万円。町田警察署管内では142件、昨年まで都内でワースト1を記録
 - ・今年すでに町田警察署管内で91件、被害額は約1億6,200万円、都内でワースト2となっている
- 2. 狙われやすい町田市**
 - ・町田市は新宿区と同程度の面積にも拘らず実質的に警察署は1つしかない、一方、新宿区は警察署が3つある。注) 町田市は町田警察署と南大沢警察署でカバーしているが、殆どの地域は町田警察署でカバーしている
 - ・都区内には防犯カメラが沢山設置されている。一方、町田市は防犯カメラが少ない
 - ・町田市は他県と接しているため犯人は他県へのがれやすい。注) 県をまたぐとつかまりにくい
 - ・高齢者が多く住んでいる

- 3. 騙されやすい人の傾向**

下記の一つでも思いあたることがあれば要注意です。

 - ・自分は大丈夫と思っている
 - ・自分は科学的思考の持ち主ではない
 - ・不安定な状態に弱い
 - ・権威に弱い
 - ・誰に対しても嫌われないようしている



4. 特殊詐欺被害の再現ドラマ映像 「キャッシュカードを奪う手口」映像

- ①某デパートの店員を名乗る人物からクレジットカードが勝手に使われているとの電話(丁寧な言葉遣いで本当らしさを演出し、パニックを誘う)
- ②銀行協会の職員を名乗る人物から被害拡大防止のため口座凍結の提案があり、その手続きと称してキャッシュカードの口座番号、暗証番号、残高を聞き出され、カードを受け取りに来るとの電話(会話中に被害者の「どうしたらいいの」という言葉があるように誰かに頼るという心理状態)
- ③銀行協会の職員と名乗る人物がキャッシュカードを受け取りに来る

「還付金という手口」映像

- ①役所の職員を名乗る人物から医療費の還付金の締め切りが迫っているとの電話で指定のATMに誘導する
- ②被害者は携帯電話を通じてATMの操作を指示される。本人は還付金が戻ってくると信じて疑わずにATMを操作する。実際は詐欺グループの口座に振り込む操作になっている(貰うときには理由はいらぬという心理状態)
- ③エラーが発生したとの言葉で限度額いっぱいになるまで何度も同じ操作を繰り返させる

まて!!
 還付金の手口は騙されやすいため被害が増えています。
 電話を掛けながらATMを操作している高齢者を見かけたらすぐさま止めましょう。

5. 詐欺にあわないための対策

- ・固定電話に出ないこと
- ・固定電話が必要な場合は、「電話番号を変える」「電話を留守番モードにする」「迷惑防止機能が付いた電話機に替える」等の対策が必要です
- ・詐欺の最新の手口などの情報を得る
- ・資産や家族構成などの個人情報について質問されても答えない。家族を名乗る人物から金銭を要求されたら電話を一度切り、日頃から使っている番号にかけ直す
- ・街角でのアンケートや無料サブリメントの応募などで個人情報を出さないようにする
- ・警察官や銀行協会などの職員がキャッシュカードの口座番号や暗証番号を聞いたり、確認のために訪ねてきたりすることはありません
- ・日頃から家族とこまめに連絡を取り情報を共有する。実行する前に家族に相談する
- ・騙されても被害を少なくするため、ATMの利用限度額を低く設定する

続いて、町田市防災安全部市民生活安全課の小関様が高校生や中学生が甘い言葉に誘われて特殊詐欺の一端(受け子、出し子など)を担われる事例を再現ドラマ映像を用いて紹介されました。受け子、出し子といえども特殊詐欺の罪は重く、高校生・中学生であれば少年院に送致され、一生悔いることとなります。子や孫が特殊詐欺に加担することが無いように気を付けましょう。防止策は日頃から子や孫とこまめに会話したり連絡を取ったりし、普段と変わったところがないかどうかを見守りましょう。

11月9日(土)、参加者28名で町田消防署にて防災訓練(地震発生に対応する訓練)を行ないました。



訓練内容は災害をイメージしてのスタンダードパイプ、AEDの操作訓練です。さらに、シアトル消防署の幹部2名が来署して、彼等の為に行なった生々しい緊急脱出訓練を見ることも出来ました。

その後、江戸時代に大山詣りの宿場としてにぎわった小野路宿に場所を移し、里山交流館で野菜を中心とした素朴だけれど美味しい弁当を味わいました。この里山交流館は、江戸時代の旧旅籠「角屋(かどや)」を改修、整備した施設であり、気軽でんびりと過ごせるおすすめの場所です。最後に、近くにある飲料水で有名なクリクラ中央研究所を見学しました。全世界の飲料水が展示してあり、ヨーロッパの飲料水は硬水が多く、日本は軟水で飲みやすいとのことでした。それぞれ為になる楽しいひと時を過ごしました。

阪神・淡路大震災では被災地域の約5割の住民が避難行動を起こし、大半が近隣の学校施設に避難した。避難者が多かったため、指定避難所以外の施設・公園等も避難所となった。指定避難所によっては、多くの避難者が殺到したため、一人あたりのスペースは畳1枚よりも狭く、教室や体育館などの居室はもとより廊下や階段の踊り場なども避難者で一杯となった。また、兵庫県の避難者数は1月17日の発災から数日経過した1月23日にピークとなった。(阪神・淡路大震災教訓情報資料集より)

このように多くの方が不自由な避難生活をおくっていました。そのような避難生活をいくらかでも改善しようとして生まれた「あのとき役立った私の知恵」を前回に続き掲載します。

第33回 秋のこどもまつりが行われました | 青少年部



10月27日(日)、町田第五小学校校庭にて、「秋のこどもまつり」が開催されました。晴天に恵まれ、千人をはるかに越える来場者に驚くばかりでした。子どもたちもお神輿(みこし)に慣れ、率先して担いでくれるようになりました。

法被(はっぴ)姿の昔遊び担当者にサマンサ倶楽部の和太鼓が加わり、祭りらしい演出ができるようになりました。昔遊びでは、普段馴染みのない羽根つきに、又、昔スタイルの竹馬に興じる児童や生徒たち、剣玉で特技を披露する児童が次から次へと現れ、担当者にとっては、嬉しい悲鳴という感じでした。友達同士でのポッチャ対抗試合に夢中になり、相手を変え3回も来た児童がいました。お手伝いを快く引き受けて頂いた方々に、厚く御礼を申し上げます。

意外と役に立ったのは
ちり取り
漏水した水を汲むには一番!トイレを流すのに十分使えた

カップめんの容器は食器代わりになる
ラップを敷いて使えば洗わずに何度も使える

懐中電灯や携帯ラジオはベットや枕に固定しておく
大きな地震では5メートルくらい飛んでいく

被災地以外の親族や友人が物心両面で支援してくれた
近くの友人も大事だが**遠くの親戚も大事**

火を起こしたりテントを張ったり野外活動体験が活かされた
体に覚えさせておくことが大事

服や座布団に**ポケット**をつけ貴重品や薬を入れられるように家族一人一人に作っておけばすぐ持ち出せる

「あのとき役立った私の知恵」は東京臨海広域防災公園・そなエリア東京に掲示されています。町内会のホームページと町内会だよりに掲載することを許可して下さった東京臨海広域防災公園・そなエリア東京に感謝いたします。

“わんわんパトロール”の活動をスタートしました | 第二地区

第二地区では、愛犬と散歩しながら地域をパトロールして登下校時の子どもや、地域の見守りを行っています。愛犬の散歩のついでに地域の役に立てばと考えてくださる方が、思いのほか沢山いて、その反響に驚いています。

現在43名の方が活動を始めています。愛犬には「リードボン」を飼い主には「防犯の腕章」をつけることで「見える化」し、犯罪者を寄せ付けない環境を目指しています。

防犯活動
人の目があることによる犯罪の抑止効果を期待する

見守り活動
高齢者、幼児、児童をさりげなく見守る必要措置をする

環境活動
街灯故障、道路標識破損など対応部署に通知をする

交流活動
犬の散歩を通してマナー向上や地域住民や子どもとのコミュニケーションを深める

普段、何気なく散歩しているコースでも意識して目をむけると普段と違って目に気づきます。「気づき」は防犯対策への第一歩です。

当面、第二地区限定で活動させていただきます。

年末年始事務所休業のお知らせ
12月27日(金)~1月5日(日)

新春 **もちつき体験会** 2020年 1月11日(土) 11時30分~13時
こすもす会館

この町 **おさんぽ** コラム

冬芽

寒さから守るため、冬芽は羽織のような薄い鱗を何枚も重ね着しているものもあれば、硬い葉を鎧のようにまとっているもの、ふわふわのものもあります。また、風に当たると面積を少なくするために小さくなってちぢこまっていたもの、乾燥を防ぐためにぬるぬるとした保湿剤を塗っているものもあります。木々は冬の厳しい環境で無理に生長するのではなく、冬芽をつけたまま、じっと

冬芽を観察しながら散歩をするのも、この町の冬の楽しみのひとつです。小さな冬芽の中には花や葉のものがつまっていきます。それらをおのおの工夫をしています。

羽織のような薄い鱗を何枚も重ね着しているものもあれば、硬い葉を鎧のようにまとっているもの、ふわふわのものもあります。また、風に当たると面積を少なくするために小さくなってちぢこまっていたもの、乾燥を防ぐためにぬるぬるとした保湿剤を塗っているものもあります。木々は冬の厳しい環境で無理に生長するのではなく、冬芽をつけたまま、じっと

サトウキビ、アジサイ、サクラ、コブシ、アジサイ、サクラ、コブシ、アジサイ、サクラ、コブシ

文・画 村山尚子

資源回収の報告 10月重量は74.3トンでした | 環境部

資源物は 収集当日の朝8時半までに出してください
※古紙・ダンボールは必ず紙ひもで括ってください

資源物のお問い合わせは 町内会事務所または 大興資源へ
☎045-929-4813

資源物の不正な抜き取りを目撃した時は 日時、場所、回収車の車両番号などを町内会まで
☎725-0438